



安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当

TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂日 2023/10/23
SDS整理番号 20165730

製品等のコード : 2016-5730、2016-5740

製品等の名称 : すず，粒状

推奨用途 : 試薬

参考：その他の用途(当該製品規格に限定されない一般的な用途。規格により用途は相違。)
スズ塩類原料、還元剤、合金原料、スズ箔、チューブ用、メッキ用など

使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと



Sn

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1(肺)

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報
長期又は反復ばく露による肺の障害

注意書き

【安全対策】

粉じん、煙(ヒューム)、蒸気などを吸入しないこと。

取扱い後は、よく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

【救急措置】

気分が悪い時は、医師の診察、手当を受けること。

【保管】

湿気、直射日光を避け、容器を密閉して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「区分に該当しない(分類対象外も該当)」又は「分類できない」である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質
化学名 : すず，粒状
(別名) 錫、スズ
(英名) Tin, shot、
Tin (EC名称、TSCA名称)
成分及び含有量 : すず、99.999%以上
化学式及び構造式 : Sn、構造式は上図参照(1ページ目)。
分子量 : 118.71

官報公示整理番号 化審法 : 元素のため対象外(適用外)
 安衛法 : 元素のため既存化学物質
 CAS No. : 7440-31-5
 EC No. : 231-141-8
 危険有害物質 : すず

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 呼吸が困難になった時は、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 気分が悪い時は医師の診察、手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚を大量の水と石鹸で洗う。
 皮膚刺激など生じた時は、医師の診察、手当を受ける。
 汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。
- 目に入った場合 : 直ちに水で15分以上注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
 眼刺激が持続する時は、医師の診察、手当を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに口をすすぎ、うがいをする。
 コップ数杯の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。
 気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
- 予想される急性症状及び遅発性症状:
 吸入 ; 咳
 皮膚 ; データなし
 眼 ; 発赤、痛み
 経口摂取 ; データなし

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 本品は不燃性である。
 粉末消火剤、泡消火剤、乾燥砂、二酸化炭素など。
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 特有の危険有害性 : 火災によって刺激性又は毒性のヒュームなどを発生することがある。
- 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
 風上から消火活動をする。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。
 漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。
 皮膚、眼などの身体とのあらゆる接触を避ける。
 風上から作業し、粉じんなどを吸入しない。
 粉じん爆発の危険性を回避するため、火気厳禁とする。
 密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。
- 環境に対する注意事項 : 河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。
- 回収、中和 : 粉じんを吸入しないように漏洩物を掃き集め、密閉できる空容器に回収する。回収した漏洩物は、後で産業廃棄物として適正に処分廃棄する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 危険でなければ漏れを止める。
- 二次災害の防止策 : 事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。
 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
 床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。
 粉じんの発生、堆積を防止する。
- 局所排気・全体換気 : 粉じんの発生する時は、防塵防爆型の換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。
- 安全取扱い注意事項 : すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。
 接触、吸入又は飲み込まない。
 眼、皮膚との接触を避ける。
 粉じんを吸入しない。
 取扱い後はよく手を洗う。
 環境への放出を避ける。
- 接触回避 : 湿気、水、高温体との接触を避ける。
- 保管
- 技術的対策 : 保管場所は、取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設定を設ける。

保管条件	: 湿気により変色するので、湿気を避けて保管する。 酸化剤から離して保管する。
混触危険物質	: 強酸化剤、酸類、強塩基類、ハロゲン、硫黄等
容器包装材料	: ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラスなど。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度 (ばく露限界値、 日本産衛学会 ACGIH)	: 生物学的ばく露指標): 設定されていない。 TLV-TWA 2 mg/m ³ (金属として)
設備対策	: この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 粉じんなどが発生する場合、防塵防爆型の換気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 呼吸器保護具 (防じんマスク) を着用する。
手の保護具	: 保護手袋 (塩化ビニル製、ニトリル製など) を着用する。
眼の保護具	: 保護眼鏡 (普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型) を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣を着用する。 必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。
衛生対策	: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	
性状	: 粒状
色	: 銀白色
臭い	: 無臭
pH	: データなし
融点	: 231.9
凝固点	: データなし
沸点	: 2270
引火点	: データなし
可燃性	: 不燃性
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: 1 Pa (1224)
相対ガス密度 (空気 = 1)	: データなし
密度又は相対密度	: 7.3 g/cm ³
比重	: データなし
溶解度	: 水に溶けない。 強酸、強アルカリ液に溶ける。
オクタノール/水分配係数	: データなし
発火点	: データなし
分解温度	: データなし
粘度	: データなし
動粘度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 (反応性・化学的安定性)	: 乾燥空気中では、変色せず安定である。 湿度が高い雰囲気下では、表面が変色する。 200 以下では酸化されることはない。 加熱温度が200 を超えると、表面にSnO ₂ の皮膜が生成する。
危険有害反応可能性	: 強酸化剤、酸類、強塩基類、ハロゲン、硫黄等と反応する。 ハロゲンとは急激に反応し、ハロゲン化スズを生成する。 アルカリ類との反応は低温では徐々に、高温では急速にすすむ。
避けるべき条件	: 湿気、高熱、日光
混触危険物質	: 強酸化剤、酸、アルカリ類、ハロゲン類、硫黄
危険有害な分解生成物	: 燃焼の際は、有毒なフェームやガスを放出することがある。

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口 分類できない。 経皮 分類できない。 吸入 (蒸気) 分類できない。 吸入 (粉じん) 分類できない。
------	---

- 皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない。
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 分類できない。
 呼吸器感受性又は皮膚感受性 : 分類できない。
 生殖細胞変異原性 : 分類できない。
 発がん性 : 分類できない。
 知見データがなく、産衛学会やIARC、ACGIH、NTP、EPA、OHSAの国際評価機関の報告がないため、分類できないとした。
- 生殖毒性 : 分類できない。
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 分類できない。
 ICSC(2004)に、「may cause mechanical irritation to the respiratory tract.」とあるが、一般的な粉じんの物理的作用に基づく影響とみられるので、GHS分類での気道刺激性に該当しないと考えられる。
- 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : EHC15の2データにより、金属すずを扱う労働者にじん肺症がみられたことにより、区分1(肺)とした。
 長期又は反復ばく露による肺の障害(区分1)
- 誤えん有害性 : 分類できない。

12. 環境影響情報

- 生態毒性
 水生環境有害性 短期(急性) : 分類できない。
 水生環境有害性 長期(慢性) : 分類できない。
 残留性・分解性 : データなし
 生物蓄積性 : データなし
 土壤中の移動性 : データなし
 オゾン層への有害性 : 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。
 都道府県知事などの許可(収集運搬業許可、処分業許可)を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付して廃棄物処理を委託する。その際、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
 本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出することは避ける。
 (参考)リサイクル法
 本製品の廃棄方法の基本は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託することである。
 一方、他の処分方法としてリサイクル法がある。本製品(純すず)又はすずを含有する廃棄物を金属(すず)廃棄物リサイクル業者に提供し、金属すずとしてリサイクルする。また、本製品のまま(純すず)廃棄する場合は、金属すずとして、すず買取業者等に引取を依頼する方法も考えられる。
- 汚染容器及び包装 : 内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規の基準に従って適切に処分する。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

- 国内規制(適用法令)
 陸上規制 : 特段の規制なし(非危険物)
 海上規制 : 特段の規制なし(非危険物)
 航空規制 : 特段の規制なし(非危険物)
 国連番号 : 非該当
 国連分類 : 非該当
 品名 : 非該当
 海洋汚染物質 : 非該当
 MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送の有害液体物質の汚染分類 : 非該当
- 特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
 重量物を上積みしない。
 必要に応じ移送時にイエローカードを運搬人に保持させる。

15. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物
 (政令番号 第322号「すず及びその化合物」、対象重量%は 0.1)
 本品は粉状ではないので、表示対象物に非該当。
 (別表第9)
- 化学物質排出把握管理促進法 (P R T R法) : 非該当 [2023年(R5年)4月1日施行にも非該当]
- 消防法 : 非該当
 毒物及び劇物取締法 : 非該当
 船舶安全法 (危規則) : 非該当
 航空法 : 非該当
 輸出入貿易管理令 : キャッチオール規制 (別表第1の16項)
 HSコード: 8007.00
 第80類 すず及びその製品
 ・輸出統計番号 (2023年4月版): 8007.00-100
 「その他のすず製品
 - 2 すずのはく (厚さ (補強材の厚さを除く。) が0.2ミリメートル以下のものに限るものとし、印刷してあるかないか又は紙、板紙、プラスチックその他これらに類する補強材により裏張りしてあるかないかを問わない。)、粉及びフレーク」
 ・輸入統計番号 (2023年4月1日版): 8007.00-200
 「その他のすず製品
 - 2 すずのはく (厚さ (補強材の厚さを除く。) が0.2ミリメートル以下のものに限るものとし、印刷してあるかないか又は紙、板紙、プラスチックその他これらに類する補強材により裏張りしてあるかないかを問わない。)、粉及びフレーク」

16. その他の情報

(注) 本品を試験研究用以外には使用しないで下さい。

参考文献 :

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances	NIOSH CD-ROM
GHS分類結果データベース	nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHSモデルMSDS情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。なお、この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253:2019に準じ作成しています。